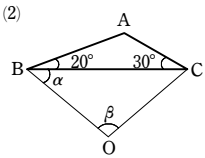
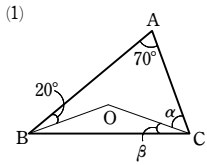
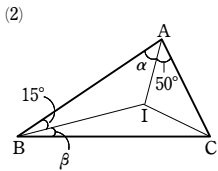
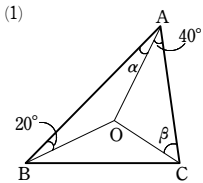


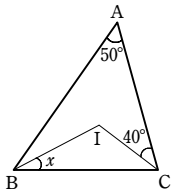
1. $\triangle ABC$ の外心を O とする。下の図の角 α , β を求めよ。



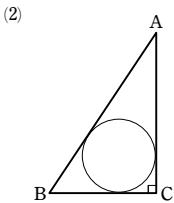
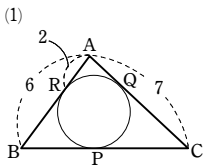
2. $\triangle ABC$ の外心を O , 内心を I とする。下の図の角 α , β を求めよ。



3. (1) 右の図において、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。このとき、角 x を求めよ。
(2) $\triangle ABC$ の内心を I とし、直線 AI と辺 BC の交点を D とする。 $AB=8$, $BC=7$, $AC=4$ であるとき、 $AI:ID$ を求めよ。



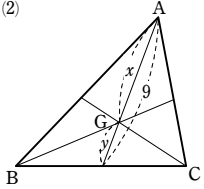
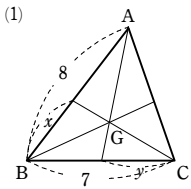
4. (1) 三角形 ABC の各辺が下の図のように、点 P , Q , R で円に接している。このとき、線分 AQ , BC の長さを求めよ。
(2) 下の図の三角形 ABC は $\angle C=90^\circ$ の直角三角形である。 $AB=5$, $BC=3$, $CA=4$ とするとき、この三角形 ABC に内接する円の半径 r を求めよ。



5. 3 辺の長さが次のような $\triangle ABC$ が存在するかどうかを調べよ。

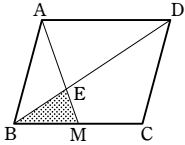
- (1) $AB=3$, $BC=6$, $CA=2$ (2) $AB=8$, $BC=10$, $CA=17$

6. $\triangle ABC$ の重心を G とする。下の図の x , y を求めよ。



7. $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ およびその外角の二等分線と直線 BC との交点を、それぞれ D , E とする。 $AB=5$, $AC=3$, $CE=6$ のとき、 BC および BD の長さを求めよ。

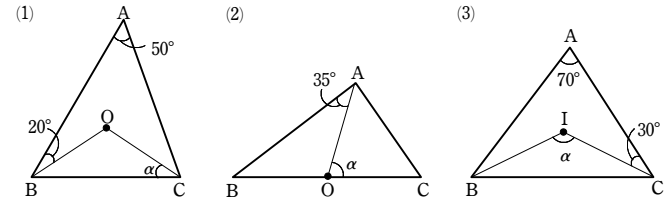
8. 平行四辺形 $ABCD$ において、辺 BC の中点を M とし、
 AM と BD との交点を E とする。このとき、 $\triangle BME$ の面積と平行四辺形 $ABCD$ の面積との比を求めよ。



9. $\triangle ABC$ で、 $\angle A$ およびその外角の二等分線が直線 BC と交わる点をそれぞれ D , E とする。 $AB=8$, $BC=7$, $CA=6$ のとき、次の長さを求めよ。

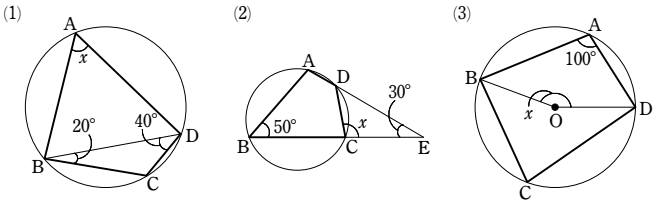
- (1) BD
- (2) CE

10. 次の図で、点 O は $\triangle ABC$ の外心、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。それぞれについて $\angle \alpha$ の大きさを求めよ。

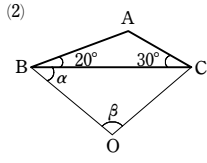
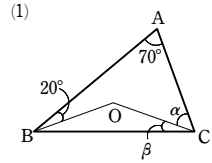


11. $AB=6$, $BC=10$, $CA=8$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。直線 AI と辺 BC の交点を D とするとき、 $AI : ID$ を求めよ。

12. 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。ただし、(3) の点 O は円の中心である。



1. $\triangle ABC$ の外心を O とする。下の図の角 α , β を求めよ。



解答 (1) $\alpha=50^\circ$, $\beta=20^\circ$ (2) $\alpha=40^\circ$, $\beta=100^\circ$

(1) $\angle OAB = \angle OBA = 20^\circ$ から $\angle OAC = 50^\circ$
 よって $\alpha = \angle OAC = 50^\circ$
 $\angle OBC = \angle OCB = \beta$ から, $\triangle ABC$ において
 $20^\circ + 70^\circ + 50^\circ + 2\beta = 180^\circ$

ゆえに $\beta = 20^\circ$

別解 (後半) $\angle BOC = 2\angle BAC = 140^\circ$

ゆえに $\beta = \frac{180^\circ - 140^\circ}{2} = 20^\circ$

(2) $\angle BAC = 180^\circ - (20^\circ + 30^\circ) = 130^\circ$ …… ①

ここで, $\angle OBC = \angle OCB = \alpha$ であるから
 $\angle BAC = \angle OAB + \angle OAC$
 $= \angle OBA + \angle OCA$
 $= (20^\circ + \alpha) + (30^\circ + \alpha)$
 $= 2\alpha + 50^\circ$ …… ②

①, ② から $2\alpha + 50^\circ = 130^\circ$

よって $\alpha = 40^\circ$

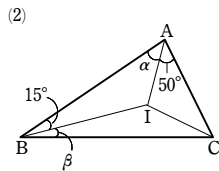
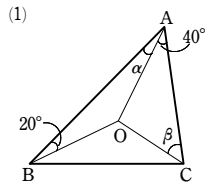
ゆえに $\beta = 180^\circ - 2 \times 40^\circ = 100^\circ$

別解 $360^\circ - \beta = 2\angle BAC = 2 \times 130^\circ = 260^\circ$

ゆえに $\beta = 100^\circ$

また $\alpha = \frac{180^\circ - \beta}{2} = 40^\circ$

2. $\triangle ABC$ の外心を O , 内心を I とする。下の図の角 α , β を求めよ。

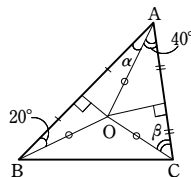


解答 (1) $\alpha=20^\circ$, $\beta=40^\circ$ (2) $\alpha=50^\circ$, $\beta=15^\circ$

(1) 点 O は $\triangle ABC$ の 3 つの頂点からの距離が等しいから

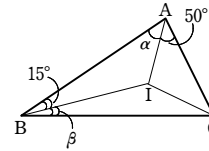
$$OA = OB = OC$$

よって $\alpha = 20^\circ$, $\beta = 40^\circ$



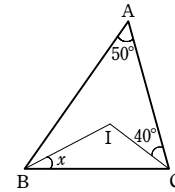
(2) 点 I は $\triangle ABC$ の 3 つの内角の二等分線上にあるから

$$\alpha = 50^\circ, \beta = 15^\circ$$



3. (1) 右の図において, 点 I は $\triangle ABC$ の内心である。このとき, 角 x を求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の内心を I とし, 直線 AI と辺 BC の交点を D とする。 $AB=8$, $BC=7$, $AC=4$ であるとき, $AI:ID$ を求めよ。



解答 (1) $x=25^\circ$ (2) $12:7$

(1) $\angle ICB = \angle ICA = 40^\circ$, $\angle IBA = \angle IBC = x$ から

$$2x + 50^\circ + 40^\circ \times 2 = 180^\circ$$

よって $x = 25^\circ$

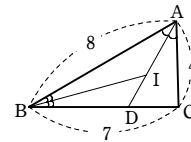
(2) 直線 AD は $\angle A$ の二等分線であるから

$$BD:DC = AB:AC = 8:4 = 2:1$$

$$\text{よって } BD = \frac{2}{2+1} \times BC = \frac{14}{3}$$

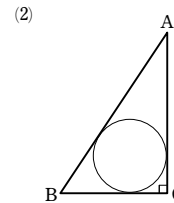
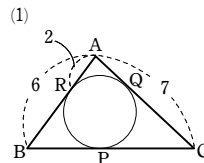
直線 BI は $\angle B$ の二等分線であるから

$$AI:ID = BA:BD = 8:\frac{14}{3} = 12:7$$



4. (1) 三角形 ABC の各辺が下の図のように, 点 P , Q , R で円に接している。このとき, 線分 AQ , BC の長さを求めよ。

(2) 下の図の三角形 ABC は $\angle C=90^\circ$ の直角三角形である。 $AB=5$, $BC=3$, $CA=4$ とするとき, この三角形 ABC に内接する円の半径 r を求めよ。

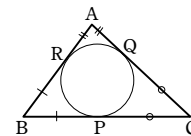


解答 (1) $AQ=2$, $BC=9$ (2) $r=1$

(1) $AQ=AR=2$

$$BP=BR=6-2=4, CP=CQ=7-2=5 \text{ から}$$

$$BC=BP+CP=4+5=9$$



(2) 内接円と辺 AB , BC , CA との接点をそれぞれ P , Q , R とする。

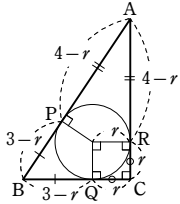
$RC=r$, $QC=r$ であるから

$$AP=AR=4-r, BP=BQ=3-r$$

$AP+BP=AB$ であるから

$$(4-r)+(3-r)=5$$

よって $r=1$



5. 3 辺の長さが次のような $\triangle ABC$ が存在するかどうかを調べよ。

(1) $AB=3$, $BC=6$, $CA=2$

(2) $AB=8$, $BC=10$, $CA=17$

解答 (1) 存在しない (2) 存在する

(1) $CA < AB < BC$ であり

$$CA + AB = 5$$

よって $BC > CA + AB$

ゆえに, $\triangle ABC$ は存在しない。 図

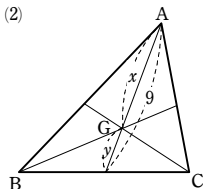
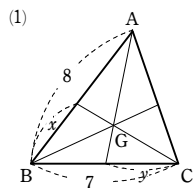
(2) $AB < BC < CA$ であり

$$AB + BC = 18$$

よって $CA < AB + BC$

ゆえに, $\triangle ABC$ は存在する。 図

6. $\triangle ABC$ の重心を G とする。下の図の x, y を求めよ。



【解答】 (1) $x=4, y=\frac{7}{2}$ (2) $x=6, y=3$

(1) 点 G は $\triangle ABC$ の 3 つの中線の交点であるから

$$x=4, y=\frac{7}{2}$$

(2) 点 G は $\triangle ABC$ の各中線を $2:1$ に内分するから

$$x=9 \times \frac{2}{3}=6$$

$$y=9-6=3$$

7. $\triangle ABC$ において、 $\angle A$ およびその外角の二等分線と直線 BC との交点を、それぞれ D, E とする。 $AB=5, AC=3, CE=6$ のとき、 BC および BD の長さを求めよ。

【解答】 $BC=4, BD=\frac{5}{2}$

直線 AE は $\angle A$ の外角の二等分線であるから

$$BE:EC=AB:AC=5:3$$

$$\text{よって } (BC+6):6=5:3$$

$$\text{ゆえに } 3(BC+6)=30$$

$$\text{よって } BC=4$$

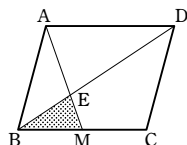
直線 AD は $\angle A$ の二等分線であるから

$$BD:DC=AB:AC=5:3$$

$BC=4$ であるから

$$BD=\frac{5}{5+3} \times BC=\frac{5}{8} \times 4=\frac{5}{2}$$

8. 平行四辺形 $ABCD$ において、辺 BC の中点を M とし、 AM と BD との交点を E とする。このとき、 $\triangle BME$ の面積と平行四辺形 $ABCD$ の面積との比を求めよ。



【解答】 $1:12$

線分 AC, BD の交点を F とする。

$\triangle ABC$ において、 E は中線 AM, BF の交点であるから、重心である。

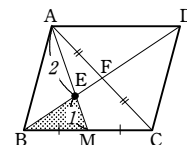
よって $AE:EM=2:1$

$$\text{したがって } \triangle BME=\frac{1}{3}\triangle BMA$$

$$=\frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \triangle ABC$$

$$=\frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \square ABCD=\frac{1}{12} \square ABCD$$

ゆえに $\triangle BME:\square ABCD=1:12$



9. $\triangle ABC$ で、 $\angle A$ およびその外角の二等分線が直線 BC と交わる点をそれぞれ D, E とする。 $AB=8, BC=7, CA=6$ のとき、次の長さを求めよ。

(1) BD

(2) CE

【解答】 (1) 4 (2) 21

(1) AD は $\angle A$ の二等分線であるから

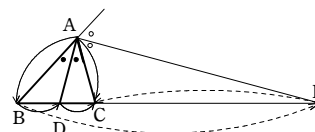
$$BD:DC=AB:AC=8:6=4:3$$

$$\text{よって } BD=BC \times \frac{4}{4+3}=4 \text{ 図}$$

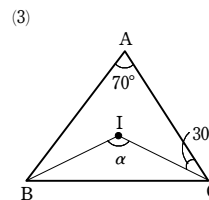
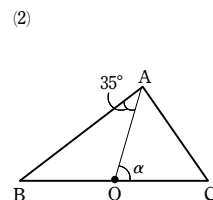
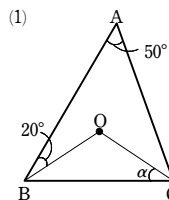
(2) AE は $\angle A$ の外角の二等分線であるから

$$BE:EC=AB:AC=4:3$$

$$\text{よって } CE=BC \times 3=21 \text{ 図}$$



10. 次の図で、点 O は $\triangle ABC$ の外心、点 I は $\triangle ABC$ の内心である。それぞれについて $\angle \alpha$ の大きさを求めよ。



【解答】 (1) 40° (2) 70° (3) 125°

(1) $\angle OAB=\angle OBA=20^\circ$

$$\text{よって } \angle OCA=\angle OAC=50^\circ-20^\circ=30^\circ$$

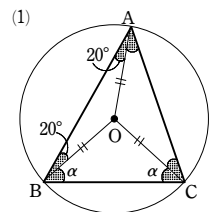
また、 $\angle OBC=\alpha$ であるから

$$(20^\circ+30^\circ)+(20^\circ+\alpha)+(30^\circ+\alpha)=180^\circ$$

$$\text{よって、} 100^\circ+2\alpha=180^\circ \text{ から } \alpha=40^\circ \text{ 図}$$

(2) $\angle OBA=\angle OAB=35^\circ$

$$\text{よって } \alpha=\angle OBA+\angle OAB=35^\circ+35^\circ=70^\circ \text{ 図}$$

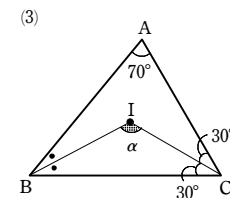


(3) $\angle BCI=\angle ACI=30^\circ$

$$\text{よって } \angle B=180^\circ-70^\circ-(30^\circ+30^\circ)=50^\circ$$

$$\text{ゆえに } \angle IBC=50^\circ \div 2=25^\circ$$

$$\text{したがって } \alpha=180^\circ-25^\circ-30^\circ=125^\circ \text{ 図}$$



11. $AB=6, BC=10, CA=8$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。直線 AI と辺 BC の交点を D とするとき、 $AI:ID$ を求めよ。

【解答】 $7:5$

AI は $\angle A$ の二等分線であるから

$$BD:DC=AB:AC$$

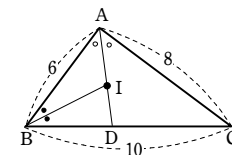
$$=6:8=3:4$$

$$\text{よって } BD=BC \times \frac{3}{3+4}$$

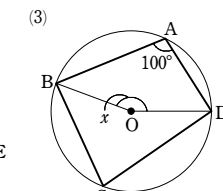
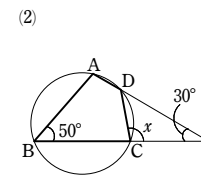
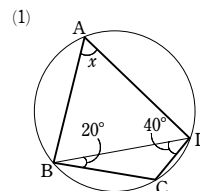
$$=10 \times \frac{3}{7}=\frac{30}{7}$$

BI は $\angle B$ の二等分線であるから

$$AI:ID=BA:BD=6:\frac{30}{7}=7:5 \text{ 図}$$



12. 次の図で、 $\angle x$ の大きさを求めよ。ただし、(3) の点 O は円の中心である。



【解答】 (1) 60° (2) 100° (3) 160°

(1) $\triangle BCD$ において $\angle C=180^\circ-(20^\circ+40^\circ)=120^\circ$

$$\text{よって } x=180^\circ-\angle C=180^\circ-120^\circ=60^\circ \text{ 図}$$

(2) $\angle A=\angle DCE=x$

$$\text{よって、} \triangle ABE \text{ において } x=180^\circ-(50^\circ+30^\circ)=100^\circ \text{ 図}$$

【別解】 $\angle CDE=\angle B=50^\circ$

よって、 $\triangle DCE$ において

$$x=180^\circ-(50^\circ+30^\circ)=100^\circ \text{ 図}$$

(3) $\angle C=180^\circ-\angle A$

$$=180^\circ-100^\circ$$

$$=80^\circ$$

$$\text{よって } x=2\angle C=2 \times 80^\circ$$

$$=160^\circ \text{ 図}$$

